

2020 年 12 月 1 日

各位

三井住友信託銀行株式会社

人生100年時代における新たなビジネス展開に向けた千葉銀行との協業について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「当社」)は、人生 100 年時代を迎え、将来に向けた資産形成や高齢期における財産管理に関する悩み・不安を社会課題と捉え、専業信託銀行グループならではの機能や強みを生かし、解決していくことを目指しております。

今般、人生 100 年時代における課題解決に資する新商品・サービスの開発、相続事務の効率化を目的に、株式会社千葉銀行(頭取:佐久間 英利、以下「千葉銀行」)との協業を開始いたしましたので、お知らせいたします。

1. 協業の経緯

これまで、当社は信託・相続関連ビジネスに関し、地域金融機関の中でも当該領域における長い業歴を持つ千葉銀行との間で情報交換を実施してまいりましたが、人生 100 年時代における社会課題解決に資する金融サービスを提供していくとの共通認識のもと、本協業を開始するに至りました。

2. 取組内容

協業にあたり、上記目的の達成に向け「高齢社会商品開発・顧客対応研究会」と、「相続事務研究会」の2つの研究会を立ち上げました。

「高齢社会商品開発・顧客対応研究会」では、認知症等の人生 100 年時代における課題への対応に向けた、新たな商品・サービスの検討、「相続事務研究会」では、相続事務に関する効率化に向けた研究を行っております。

【研究会の概要】

	高齢社会商品開発・顧客対応研究会	相続事務研究会
概要	超高齢社会、認知症対応等の課題解決や多様な商品・サービスの開発に向け定期的に開催	相続事務に関する共同研究・情報交換
目的	新たなニーズ・マーケットに対応する商品・サービスの検討・開発等	相続事務運営の効率化

今後も当社と千葉銀行では本協業を通じ、多様化する顧客ニーズや社会的課題の解決に向けた新たなソリューションおよび付加価値の共創を目指してまいります。

以上